

**Q** 管理職として、大事にしなければならないこと、心がけなければならないことを教えてください。

**A** 「分かりやすい、自分の言葉で、教育を語ろう。」

管理職に就くと「教育」を語るチャンスは多くあります。教職員も今度の校長を早く知りたいと願っています。とうとうと演説するのもよいでしょうが、会議では、平易な、しかも自分の言葉で語りたいたいものです。

管理職になると途端に、何かと難しい言葉を使いたくなるものです。見られているという意識が働き、「俺はこんなことも知っている」と言わんばかりに、日頃あまり使わない言葉を使いがちです。

「その言葉の具体的な意味はどんなことですか」と聞かれると、返答にしどろもどろとなり、かえって自分を見透かされてしまう結果となります。

教育現場には、様々な言葉が溢れています。日本語はもちろん、教育技術面では英語の専門用語も多く、頭文字だけで表されているものもあり、それらが量産されています。平易な言葉でも、その内容となると大変難しいものもあります。例えば、「人間性」、「人間力」、「社会性」など分かりそうで、その内容はと問われれば返答に窮する場合も少なくありません。しかも、使っている人によって、微妙な違いがあります。

私は、手帳大のメモノートを活用して、気付いたときによく書き込んでいました。例えば、「人間性」とは「人間としての良さ」と言い換えます。その良さの中でトップに来るものは「思いやりの心」ではないだろうか。「社会性」については、話合いの中で盛んに使われていましたが、いざその具体的な内容になるとなかなか言葉が出てきません。苦しんだ挙句、一つは「対話する力」であり、もう一つは「法律を守る力」ではないかと答えたことがあります。

管理職は相手と対話し、説得する場面が再々あります。難しい言葉を並べると、相手は「校長の言葉にごまかされた」と思うだけで、心からの納得を得ることは難しいのではないのでしょうか。管理職は教育界で使われている言葉を、よく知っておくだけでなく、その言葉の意味することは何かについて、「自分の言葉」で説明できるよう考えておきたいものだと思います。

校種

全校種